

重誓寺報

第49号 令和3年9月発行

浄土真宗 本願寺派 (西本願寺) 重誓寺
じゅうせいじ

大阪市旭区中宮2丁目4番19号
電話・FAX 06(6951)0090

親鸞聖人は治承五(一一八一)年、九歳の時に伯父の日野範綱に付き添われ、天台宗青蓮院、慈円のもとで出家得度されます。この得度の際「今日はもう遅いから、明日式を行いましょ」と告げた慈円に、親鸞聖人は、「明日ありと思う心のあだ桜夜半に嵐の吹かぬものかは」と詠んだと伝えられています。生きることはかなさを、桜花にたとえた親鸞聖人の歌に感じ入った慈円は、その日のうちに得度の儀式を執り行つたと言われています。得度して「範宴」という僧名を与えられた親鸞聖人は、比叡山に入山。以後二十年間を天台宗の本山・比叡山延暦寺で過ごされます。

現在、私たちの宗派では十五歳から得度が受けられる事になっています。十日間、京都の西山別院で得度習礼を受け剃髪し、最終日に本願寺にて御門主様より得度式を受けます。長男も昨年に受式予定でしたが、コロナ禍により中止となり今年ようやく参加予定をしていました。しかしまた中止となり、特例によりオンラインにて受けられることになりました。本堂にパソコンを持ち込み、朝六時から夜十時までの課程を画面を通して受講いたしました。御門主からの得度式は後日改めてとなりましたので、今はまだ仮免許の状態です。



法座のご案内

重誓寺では毎月、二十日

(三、九、十一月は二十日、二十一日)

法座が勤まります。

勤行約三十分、法話約一時間

秋季永代経法要

九月二十日(金) 午後二時、七時

二十一日(土) 午後二時

講師 東淀川区 萬福寺 寺本正尚 師

常例法座

十月二十日(水) 午後二時

講師 岐阜県 大性寺 牧野光博 師

親鸞聖人報恩講

十一月二十日(土) 二十一日(日)

午後二時、七時

講師 枚方市 浄行寺 義本弘導 師

常例法座

十二月二十日(月) 午後二時

講師 旭区 千林 浄光寺 中西昌弘 師

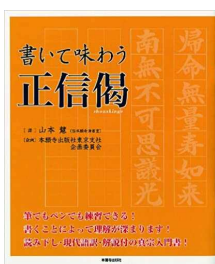
尚、新型コロナウイルスの感染状況により、休座する場合があります。お気軽にお問い合わせ下さい。

写経

写経はしないのですかと聞かれることがあります。写経と言うと般若心経を思い浮かべる方が多いかも知れませんが、浄土真宗では自力で悟りを開こうとする般若心経はお勤め致しません。あくまで阿弥陀仏の救いにお任せし救われるのが浄土真宗なのです。ですから写経によって功德や御利益があるとは考えません。

しかし写経をしない訳ではありませんし、そのような本も出ており、通販でも買うことが出来ます。写経することによって、そのお経の教えに遇わせて頂く事も有り難いことかと思えます。

ご自分で書き写した経本で、日々のお勤めをしてみたいかがでしょうか。



歎異抄

第二条

(意識・抜粋)

「親鸞においては、ただひとすじに念仏して、阿弥陀仏にたすけていただきなさいと教えて下さったよき人、法然上人の仰せをいただいたて信じているだけで、そのほかの特別の訳などありません。

『念仏するものは地獄におちる』と、脅す人々がいるとのことですが、念仏が本当に浄土に生まれる因であるのか、それとも地獄におちる業であるのか、わたしはまったく知りません。

かりに法然上人にあざむかれて、念仏して地獄におちたとしても、わたしは決して後悔はいたしません。

それというのも、ほかの修行を励んだならば仏になられたはずの身が、念仏を申したばかりに地獄におちたとも言うのならば、あざむかれたという後悔もありましようが、いずれの修行にもたえられない愚悪の身には、所詮、地獄こそ定まれるすみかであるといわねばなりません。しかし、このような愚悪の身を救おうとおぼしめて、念仏を往生の道と選び定めたもうた、

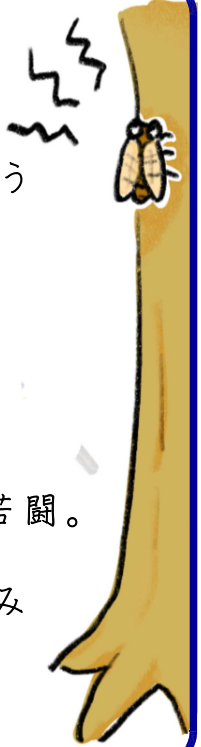
弥陀の本願がまことであらせられるならば、その仏説に随順して本願念仏のころをあらわされた、善導大師の御釈に嘘のあはれはありますがありません。善導大師の御釈がまことであるならば、ひとえに善導大師の教えに準拠して説き示された法然上人の念仏のみ教えが、どうして嘘偽りでありましよう。法然上人の仰せがまことであるならば、その教えのままに信じているこの親鸞の申すこともあながちにいたずらごとではありません。

わたしの信心は、この通りです。このうちは、念仏の教えをうけいれて信じてゆかれるか、それともまた縁なき道としてお捨てになるかは、あなたがた一人一人のお心のままになさるがよろしい。」と親鸞聖人は仰せられました。

歎異抄たんにししょうは、親鸞聖人の弟子、唯円が聖人滅後、聞いた言葉の間違ひなく伝えるため書きとめた書物です。



坊 守 日 記



「息子の得度習礼の10日間は、娘もインターンで留守。パピー犬の預かりもない。もしかして夏休みか！？(笑)」という密かな目論見は、オンライン受講であっけなく撃沈。早朝の目覚まし係に始まり、日程表に合わせて3度の食事。その休暇時間にもオンラインで課題を見てもらうので、すぐに食べられる物がいいようでメニューに頭を悩ます日々。講義は本人一人で受けねばならず、居眠りしてないかこっそり覗きに行ったり…

息子は息子で境内の蟬の大群声がZoomの音を妨げ悪戦苦闘。敵は睡魔だけじゃなかったのね。

修了後のレポート4本をようやく提出しおえたら、学校の夏休みも終わってました。

さ、明日からまたお弁当始まるー。

もう打ちましたか？と言いますが、皆様はいかがでしょうか。打ちなさいと言いなから、なかなか予約が取れないのかもしれませんが、かと思えます。ご院さんは打たれるで「か」と毎日先日に聞かれましたが、先日一回目の接種が済みまし。お陰で次の日から発熱がありません。お参りも休ませないで。抗体を持っている、どうも反応が出ると、感じが副的もその影響がひどいのもその影響がひどいのも反応で悟り、打つという事をお考えと、可能なら打つべきかと。経験者として！

ワクチン接種

お参りの変更や相談など、ちょっとした連絡をメールでもお聞きします。お気軽にお問い合わせ下さい。ただし急ぐ場合や返事が無い時は必ず電話でお願いします。

重誓寺 E-mail juseiji@gmail.com(携帯)
TEL 06(6951)0090